

\_\_\_\_\_ 御中

# インテグレーションテストサービス 試験報告書

2016年日 xx 月 xx 日

# サンプル

## 1. 試験目的

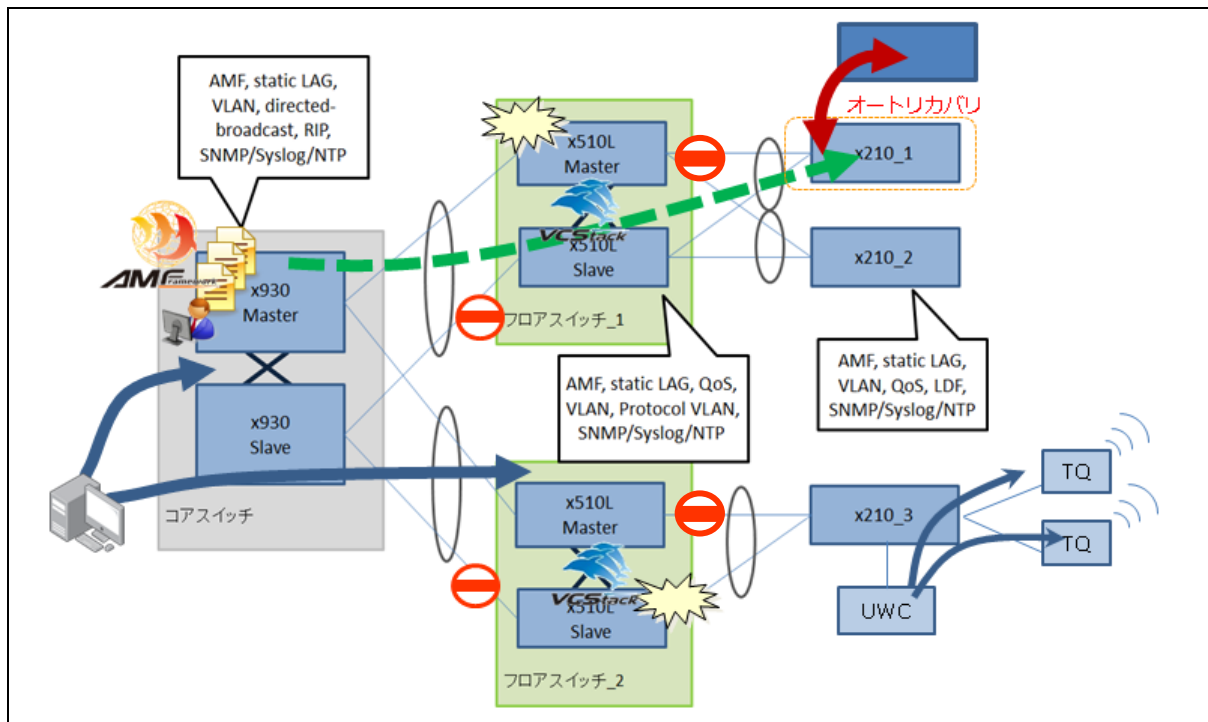
ご提供いただいた申込書の情報をもとに、最適なファームウェアとテンプレートコンフィグをセットアップし、代理店様/お客様のシステム導入を支援する目的でインテグレーションテストを実施しました。

## 2. 試験環境

### 2.1 概要

- コアスイッチ～フロアスイッチを 1Gbps×2 でスター型接続した基幹系ネットワーク構成
- コアおよびフロアスイッチは機器 (VCS 機能) ・経路 (LAG 機能) を冗長し、片系故障時も業務継続可能とする
- ループガード機能にて、誤接続によるループ防止対策
- 統合管理機能 (AMF 機能) による管理・運用性の向上

### 2.2 構成図



### 3. 試験内容

#### 3. 1 基本動作試験

機器単体、あるいは各モジュールを組み込んだ状態における基本動作確認。

#	項目		試験内容	結果
1	起動時試験	電源	01 電源が正常に動作していること	○
			02 機器が正常に起動すること	
		ファン	03 FAN が正常に動作していること	○
			04 異常音がないこと	○
		コンソール	05 コンソール接続、機器操作、情報取得が正常に行えること	○
		モジュール	06 拡張モジュール、SFP モジュールが正常に認識していること	○
		ステータス	07 各種 LED（システム LED、ポート LED）が正常に点灯すること	○
ログ	08 異常なログが出力されていないこと	○		
2	セットアップ時試験	ファームウェア/ライセンス	01 正常に搭載されていること	○
		設定	02 正常に設定できること	○
		ログ	03 異常なログが出力されていないこと	○

#### 3. 2 運用想定試験

構成図に示すネットワークにおける通常運用を想定したEnd to End 通信確認 及び障害発生を想定した異常系動作確認。

#	項目		内容	結果
3	正常運用時試験	本体宛通信	01 各機器に対する Ping/Telnet 通信が正常に行えること	○
		端末間通信	02 各機器配下から End to End で Ping 通信が正常に行えること	○
		CPU 負荷率	03 異常な CPU 負荷率にならないこと	○
		併用機能	04 選択した機能の組み合わせ(併用)が正常に動作すること	○
		ログ	05 異常なログが出力されていないこと	○

4	異常発生時 試験	電源 OFF/ON	01 冗長機器の電源 OFF にて、端末間 Ping 通信が正常に復旧すること	○
			02 冗長機器の電源 ON にて、端末間 Ping 通信が正常に復旧すること	○
			03 異常なログが出力されていないこと	○
	※対象 ・機器冗長 ・経路冗長	インターフェース ダウン/アップ	04 冗長経路のインターフェースダウンにて、端末間 Ping 通信が正常に復旧すること	○
			05 冗長経路のインターフェースアップにて、端末間 Ping 通信が正常に復旧すること	○
			06 異常なログが出力されていないこと	○
		モジュール交換	07 拡張モジュールのホットスワップにて、端末間 Ping 通信が正常に復旧すること	○
			08 電源モジュールのホットスワップにて、正常な起動状態を維持できていること	○
			09 異常なログが出力されていないこと	○

### 3. 3 ランニング試験

想定負荷による動作耐久試験。

#	項目	内容	結果	
5	ランニング 試験	24 時間以上の End to End ワイヤード負荷通信	01 異常な CPU 負荷率にならないこと	○
		02 メモリーリークしていないこと	○	
		03 異常なログが出力されていないこと	○	

#### 4. 備考

##### 【AW+5.4.5-2.1 からの仕様変更】

##### VLAN classifier

- LAG インターフェース (saX、poX) に VLAN クラシファイアを設定できていましたが、設定できないように仕様変更されました。リンクアグリゲーションと VLAN クラシファイアを併用する場合は、LAG インターフェースではなくメンバーポートに設定するようにしてください。

##### 【AW+5.4.5-2.1 での制限事項】

##### VLAN classifier

- VLAN クラシファイアとトランクグループの併用時、VLAN クラシファイアの設定変更を行う場合は、一旦トランクグループを削除し、スイッチポートに VLAN クラシファイアグループを再適用したのち、トランクグループを設定しなおしてください。
- タグ付きポートで VLAN クラシファイアとトランクグループの併用時、show vlan コマンドを実行すると、VLAN クラシファイアで定義した VLAN のメンバーポート一覧に LAG インターフェースが表示されませんが、表示だけの問題で通信には影響ありません。
- 930Masrter 電源断時、特定の MAC アドレスがソフトウェアテーブルに登録されません。(ポートベース VLAN 所属の L3 パケット、プロトコル VLAN は載る) ただし、HW テーブルには登録されるため、通信に影響はありません。

##### USB

- USB メモリーを装着した際、エラーメッセージが表示されることがありますが、これは表示だけの問題であり、動作に影響はありません。
- 機器に装着している USB メモリーまたは SD カードを抜き、再度機器に装着した時、以下のログが出ます。抜いた時 kernel: FAT-fs (sda1): unable to read boot sector to mark fs as dirty 装着した時 kernel: FAT-fs (sda1): Volume was not properly unmounted. Some data may be corrupt. Please run fsck. また、機器に装着している USB メモリーまたは SD カードを抜き、PC に装着すると、PC 上で「スキャンして修復しますか？」というメッセージが出ますが、ログのみの問題で、ファイルの破損はありません。

別紙：機器リスト

No	製品名	シリアル No.	接続機器	HW Rev	FW ver
1	<b>AT-x930-28GSTX</b>		Master		5.4.5-2.1
	PWR800		PSU1		-
	AT-StackQS		Bay1		-
	AT-QSFP1CU		port1.1.1		-
	AT-SPLX10		port1.0.25		-
2	<b>AT-x930-28GSTX</b>		Slave		5.4.5-2.1
	PWR800		PSU1		-
	AT-StackQS		Bay1		-
	AT-QSFP1CU		port1.1.5		-
	AT-SPLX10		port2.0.25		-
3	<b>x510L-28GT</b>		Master		5.4.5-2.1
	AT-SP10SR		port1.0.27		-
	AT-SP10SR		port1.0.28		-
	AT-SPLX10		port1.0.25		-
4	<b>x510L-28GT</b>		Slave		5.4.5-2.1
	AT-SP10SR		port2.0.27		-
	AT-SP10SR		port2.0.28		-
	AT-SPLX10		port2.0.25		-
5	<b>x510L-52GT</b>		Master		5.4.5-2.1
	AT-SP10SR		port1.0.51		-
	AT-SP10SR		port1.0.52		-
6	<b>x510L-28GP</b>		Slave		5.4.5-2.1
	AT-SP10SR		port2.0.27		-
	AT-SP10SR		port2.0.28		-
7	<b>x210-24GT</b>				5.4.5-2.1
8	<b>x210-24GT</b>				5.4.5-2.1
9	<b>x210-16GT</b>				5.4.5-2.1

以上

Rev 1.0  
受注番号\_\_\_\_\_